



「もっともだ」の意味についての予備的考察

著者	池谷 知子, 神夏磯 晴香
雑誌名	トークス = Theoretical and applied linguistics at Kobe Shoin : 神戸松蔭女子学院大学研究紀要言語科学研究所篇
巻	24
ページ	15-26
発行年	2021-03-05
URL	http://doi.org/10.14946/00002245

「もっともだ」の意味についての予備的考察*

池谷 知子[†]・神夏磯 晴香[‡]

神戸松蔭女子学院大学 文学部 日本語日本文化学科[†]・早稲田大学 日本語教育研究センター 非常勤講師[‡]

tikeya[at]shoin.ac.jp

A preliminary consideration of the meaning of *mottomo-da*

IKEYA Tomoko[†]・KAMIGASO Haruka[‡]

Kobe Shoin Women's University Department of Japanese Language and Culture[†]

Center for Japanese Language, Waseda University[‡]

Abstract

「もっともだ」と「当然だ」の意味は同じものとされ、相違点として接続方法のみが挙げられていた。そこでは「もっともだ」は「のは/のも」接続であり、「当然だ」は「て形」接続であると述べられていた。しかし、今回の調査で、接続方法に大差はなく、さまざまな接続方法がみられた。しかしながら、「もっともだ」では「て形」接続が観察されず、「て形」接続は「当然だ」のみが共起できる接続であることが明らかとなった。

また、「もっともだ」はその意味として明示的ないし含意される発話に関連付けられることを示した。

In previous research the meanings of “mottomo-da” and “tôzen-da” have been considered the same, and it was assumed that the only difference was the way they are connected with the immediately preceding verbal forms. Our study revealed that “tôzen-da” alone can co-occur with “te” form, while this is not observed in the connection forms for “mottomo-da”.

In addition, we found that “mottomo-da” indicates an understanding related with some utterance, explicit or implicit, on the part of a speech participant.

キーワード: もっともだ 当然だ コンテキスト分析 接続の違い 発話

Keywords: mottomo-da, tôzen-da, connection forms, utterance

*本論文は、神夏磯の修士論文(2019年提出)のデータにもとづき、考察を加えたものである。

1. 研究の背景と目的

本論文は文末における「もっともだ」を考察対象とし、その意味を明らかにすることを目的とする。一般的に「もっとも」は、「明日は初すべりだ。もっとも雪があればの話だが。」(条件)、「毎日5時まで会社で働いている。もっとも土・日は休みだが。」(例外)のように接続詞として用いられ、「前の事柄を受けながらも、それに対立的・反対的な条件や補足をつけ加えることを示す。(日本国語大辞典より抜粋)」という意を想起するであろう。

しかし、本論文で扱う「もっともだ」は接続詞として用いられるものではなく、名詞もしくは形容動詞として扱われ、文末に表れる「もっともだ」を対象とする。文末に表れる「もっともだ」とは「君が裏切ったのだから、彼女が怒るのももっともだ。」のようなものである。

この文末に用いられる「もっともだ」の文と「ひどいことばかり言ったので、彼女に嫌われて当然だ」では、「もっともだ」と「当然だ」の示す意に大差はないように考えられる。そこで本論文では、「もっともだ」について接続方法などの構文的条件とそれらが使用されるコンテキストについて類義語関係にある「当然だ」と比較しながら、実際の用例を見ていく。

2. 研究の背景

文末における「もっともだ」「当然だ」について、日本語教育の現場で使用されている教材(『日本語総まとめN2文法』、『はじめての日本語能力試験 N2単語2500』を参照)を用い、「もっともだ」「当然だ」の意味および機能がどのように記述されているのかを見ていく。なお、本論文では、先行研究の例文番号であっても本論文の通し番号として取り扱う。また、先行研究では断定詞「だ」を除いた「もっとも」「当然」の形で提示されているものもあるが、本論文では文末における「もっとも」と「当然」を取り扱うので、「もっともだ」「当然だ」と表記する。

2.1. 『日本語総まとめN2文法』での記述

『日本語総まとめN2文法』では、「もっともだ」「当然だ・当たり前だ」は同様の意味であると説明されている。「当然」の項目で挙げられている例文として「ひどいことばかり言ったので、彼女に嫌われて当然だ。」(=普通は嫌われる)、「相手のチームは弱い。勝って当たり前だ。」(=普通は勝つ。)である。しかし、「当然だ」と「当たり前だ」の違いについては触れられていない。また、「もっともだ」の項目では、「君が裏切ったのだから、彼女が怒るのももっともだ。」(=普通は怒る)、「あなたがそう言うのはもっともだ。」(=普通はそう言う)という例文が挙げられている。また注意書きとして、「もっともだ=当然/当たり前」との記述があり、三者の意味における相違点は見られず、「もっともだ」と「当然だ・当たり前だ」の相違点としては、接続方法だとされている。具体的には、「当然だ」と「当たり前だ」は、「動詞のて形、い形容詞くて、な形容詞で+当然だ/当たり前だ」のように「て形」接続をし、「もっとも」は、「動詞の辞書形、い形容詞、

な形容詞+のは/のもの」のように「のは/のもの」接続をすると記述されている。

表 1: 『日本語総まとめ N 2 文法』での記述

文法項目	例文	接続方法
もっともだ	君が裏切ったのだから、彼女が怒るのも <u>もっともだ</u> 。= 普通は怒る あなたがそう言うのはもっともだ。=普通はそう言う	のは・のも
当然だ	ひどいことばかり言ったので、彼女に嫌われて <u>当然</u> だ。=普通は嫌われる	て形
当たり前だ	相手のチームは弱い。勝って <u>当たり前だ</u> 。=普通は勝 つ	

注意書き: 「もっともだ=当たり前/当然」

2.2. 『はじめての日本語能力試験 N 2 単語 2500』での記述

『はじめての日本語能力試験 N 2 単語 2500』では、プラスのイメージの単語として「もっともだ」が形容動詞として取り上げられており、「彼女が怒るのはもっともだと思う。」の例文とともに、英語訳「understandable」との表記が見られる。『ジーニアス英和大辞典』で「understandable」の意味を調べたところ、「『形』<物・事が>理解できる, わかる (comprehensible); 予測された, 当然の; わかりやすい」とある。この教科書で取り上げられているのは「もっともだ」だけであり、「当然だ」「当たり前だ」は取り上げられていない。やはりここでも「もっともだ」と「当然だ」の相違は見られない。表 2 参照。

表 2: 『はじめての日本語能力試験 N 2 単語 2500』での記述

- プラスのイメージの単語

もっともだ	形容動詞	彼女が怒るのはもっともだと思う。	understandable
-------	------	------------------	----------------

「understandable」: 『形』<物・事が>理解できる, わかる (comprehensible); 予測された, 当然の; わかりやすい。(『ジーニアス英和大辞典』)

※ 「当然だ」「当たり前だ」は取り上げられていない。

2.3. 『日本国語大辞典』での記述

次に「もっともだ」「当然だ」の語義を『日本国語大辞典』を参照し確認する。『日本国語大辞典』の「もっともだ」と「当然だ」の意義は以下の通りである。内容は『日本国語大辞典』から抜粋した。(下線は筆者)

もつとも【尤・最】

- 一【副】 ① その事柄について疑問がなく、同感・肯定できるさま。本当に。いかにも。なるほど。
② 程度のはなはだしいさま。(イ) 非常に。とりわけ。たいそう。他をこえて。ほかのすべてにまさって。
- 二【名】 (形動) その事柄がなんの疑問の余地のないこと。当然そうあるべきであること。あたりまえ。当然。
- 三【接助】 前の事柄を受けながらも、それに対立的・反対的な条件や補足を付け加えることを示す。そうはいうもの。一方で。ただし。
- 語誌： 一の副詞としての用法も、「いかにも…であるが」の意で後ろに逆接で続く文、フレーズに含まれるものが目立つようになり、近世になると三の逆接の接続詞としての例が見られるようになる。

とうぜん【当然・当前】

- 一【名】 ① (形動) その事柄が、どう考えてもそうあるべきであること。そうであることが、なんら疑問の余地のないこと。あたりまえであること。また、そのさま。
- 二【副】 (「と」を伴って用いることもある) その事柄が、どう考えても疑問の余地のないさまを表す語。
- 補注： 日本では「当前」と書かれる例もあり、それを訓読して「あたりまえ」ということばが生じたと考えられる。

『日本国語大辞典』の記述にも、「もつともだ」の説明として「当然だ」、「疑問の余地のないこと」と記され、「当然だ」の説明にも「もつともだ」と同じく「疑問の余地のないこと」とある。このことから「もつともだ」と「当然だ」は広義では類義関係にあるとわかる。

3. 考察の対象

辞書や日本語の問題集にはいくつかの記述があるが、「もつともだ」「当然だ」の相違点について深く述べられたものは管見では存在しなかった。また、『日本語総まとめN2文法』は接続方法を相違点として挙げているが、「当然だ」が動詞の「て形」接続だけではなく、「のは/のも」接続が可能であることが例2からわかる。「当然だ」であっても「のは/のも」接続が可能であり、不自然な文にはならない。

例1 相手のチームは弱いので、勝って当然だ。

例2 相手のチームは弱いので、勝つのは/のも当然だ。

これから、「もつともだ」「当然だ」の相違を明らかからかにするため、まず、接続方法を分析し、次に使用されるコンテキストを分析していく。考察の対象とする例文は以下の方法で採集した。

- BCCWJ コーパス¹より（以下、コーパスと表記）収集した、書字形出現形が「もっとも」で、後方共起キーから1語書字形出現形「だ」、前後文脈100語で検索した全108例。
- BCCWJ コーパスより収集した、書字形出現形が「当然」で、後方共起キーから1語書字形出現形「だ」、前後文脈100語で検索した全679例中、ランダムに抽出した全108例。

3.1. 「もっともだ」と「当然だ」の接続

日本語教育の教材では「もっともだ」は前件が「のは/のも」接続、「当然だ」は前件が「テ形」接続であるとされているが、コーパスから用例を採集し、「もっともだ」「当然だ」が用いられる文が実際にどのような前件接続が可能であるのかを明らかにする。例2「相手のチームは弱いので、勝つのは/のも当然だ」のように、「のは」「ことは」など「は」に係っていくものを「は系」、「のも」「ことも」など「も」に係っていくものを「も系」、「のが」「ことが」「ほうが」など「が」に係っていくものを「が系」として分類する。

「あって当然だ」「死んで当然だ」のように動詞の連用形「て/で」、い形容詞の連用形「くて」、な形容詞の連用形「で」などは、本来ならば「テ形」と表記すべきであるが、「50メートルを5.7秒で走れるなら、一番で当然だ」のように、連用形の活用語尾以外にも、「て/で」で接続するものを広く含めることや、その他の接続と表記をあわせるため、本稿では「テ形」ではなく「て系」と表記する。また、それ以外にも、例3のように「名詞」や例4のように「接続詞」に係っていくものは「その他」とし、「もっともだ」と「当然だ」が実際にどのような形式で接続されるかを見ていく。

例3 「お怒りももっともだと思います。」（前件接続方法：名詞）

例4 「人によって考え方がちがうのだから当然だ。」（前件接続方法：接続詞）

「もっともだ」と「当然だ」は会話文などでは、例5のようにそれが先行する発話にかかり、前件を取らず単独で「もっともだ」と「当然だ」が現れるものがある。また、同じようなパターンであるが、例6のように、引用節の中に「もっともだ」と「当然だ」が現れるものもある。

例5 A:「労働のないところに、絶対、繁栄はありません。」 B:「もっともだ/当然だ。」

例6 A:「労働のないところに、絶対、繁栄はありません。」 Bは「もっともだ/当然だ」と思った。

今回は「もっともだ」と「当然だ」がどのような前件接続をするのかを分析の対象とするため、これらのように前件がないものを「独立二文タイプ」として分析の対象から外す。

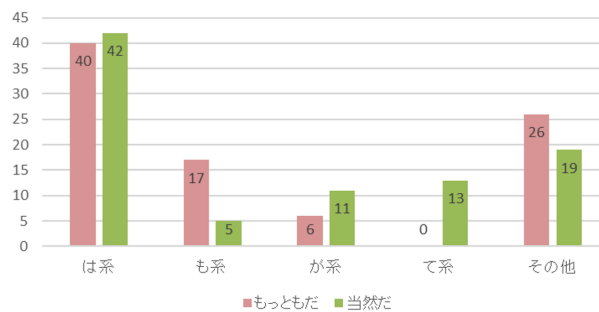
¹『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)は、現代日本語の書き言葉の全体像を把握するために構築したコーパスであり、現在、日本語について入手可能な唯一の均衡コーパスである。書籍全般、雑誌全般、新聞、白書、ブログ、ネット掲示板、教科書、法律などのジャンルにまたがって1億430万語のデータを格納しており、各ジャンルについて無作為にサンプルを抽出している。

3.2. 「もっともだ」と「当然だ」の前件の接続形式

BCCWJ コーパスで「もっともだ」を検索した結果、全 108 例であった。その中に独立二文タイプが 19 例あったため、実際の分析対象は 89 例であった。「当然だ」は 679 例あり、同じ条件で検索した「もっともだ」の 108 例と比較してかなり用例数が多かった。この用例数の違いは今回使用したものが、BCCWJ という書き言葉を対象にしたものであることに起因する可能性がある。そうすると「もっともだ」と「当然だ」の違いは話し言葉と書き言葉という文のスタイルの違いによる可能性もあるが、両方とも書くことも話すこともできるので、スタイルの違いは今回の考察の対象外とする。「もっともだ」の用例数に合わせるため、その中からランダムに 108 例を選出し分析を行った。その中で独立二文タイプが 18 例あったので、実際の分析例は 90 例である。

これから「もっともだ」89 例、「当然だ」90 例の実際の接続を見ていく。分類のカテゴリーは前節で述べたように「は系」「も系」「が系」「て系」と「その他」とし、その結果を表 3 にグラフとしてまとめた。それぞれの単位は実数になっている。

表 3: 「もっともだ」「当然だ」の接続方法



「もっともだ」「当然だ」の両方に、「は系」「も系」「が系」「その他」の接続が観察された。両方とも、「は系」の接続が例のほぼ半分を占め、「もっともだ」「当然だ」双方とも、「は系」が最も現れやすい接続であることがわかる。それぞれの接続の代表的な例をあげておく。

【もっともだ】

- (1) 亭主が怒り狂うのはもっともだ。(前件接続：のは)
- (2) あのご婦人方が休みたいと思うのも、もっともだ。(前件接続：のも)
- (3) 多くは、むしろ、登録景観設計士の言うことがもっともだということになって、登録景観設計士の絶好のアピールの場になってしまいそうです。(前件接続：ことが)

【当然だ】

- (4) こんな文化に対して貧しい状態にあるのだから、この五十年間、イギリスからいい文学作品も、いい評論も、いい研究も出ていないのは当然だ。(前件接続：のは)
- (5) 入口で係の女性が、「まもなく閉館時間になりますから、少しお急ぎください」と言った。なるほど、時計を見ると四時半になろうとしている。ガイドブックによると、所要時間は四十分ということだから、お客が跡絶えるのも当然だ。(前件接続：のも)
- (6) そして彼女は日本社会とは対称的な社会システムをもつヘアー・インディアン社会をフィールド・ワークし、その構造をつぎのように言う。第一に、彼らは「家族は同じ屋根の下で住むのが当然だ」という考え方が弱い。(前件接続：のが)

表3のグラフでも示されているように、今回、採集した用例の中には「もっともだ」には「て系」接続が1つも観察されなかった。これが偶然かどうかを確かめるために 実際に観察された例を「て系」にしてみる。

例7 亭主が怒り狂うのはもっともだ。(前件接続：のは)

例8 あのご婦人方が休みたいと思うのも、もっともだ。(前件接続：のも)

例9 *亭主が怒り狂ってももっともだ。

例10 *あのご婦人方が休みたいと思ってももっともだ。

例7と例8を「て形」にした例9と例10が非文になってしまうことから、「もっともだ」では「て系」接続が容認されないことがわかる。唯一、形式的に「て形」が現れたものとして「ても」の例があった。

- (7) 後進国で産業がうまく伸びないのは商業道德の伝統がないからだともいわれるくらいである。そこで、債権回収を法的な観点だけでなく道義的な観点からみると、ある程度債務の立替払いを求めてももっともだ、というような相手もかなりいるものである。(前件接続：ても)

これらのことから、「もっともだ」の前件接続をまとめると、「は系」と「も系」を合わせると64%になり2節で取り上げた『日本語総まとめN2文法』での記述は間違っていない。一方で、36%は「は系」と「も系」以外のものであり、「もっともだ」における接続方法は「のは/のも」以外でも可能であることが明らかになった。ただ、「て系」接続ができないので、「もっともだ」は「のは/のも」を典型例として、それ以外に様々な形式が取れるが、「て系=テ形」接続は取ることができずとまとめられるだろう。その一方で、「当然だ」は先行研究では「て系」接続であると述べられていたが、今回の調査では13例のみがその接続を取り、比率としては全体の14%であった。つまり、86%は「て系」以外の接続ということになる。ここからわかることは、「当然だ」は「て系」接続が一番多い典型的な接続ではないが、「もっともだ」と違って「て系」接続が可能であ

るということである。接続に関してはこの点が、「もっともだ」と「当然だ」の大きな違いとなる。今回、観察された実際の用例をあげておく。

【て系】

- (8) 関西の笑いが今だに理解できない。理解できないなどとおおげさに言うと、ちょっと滑稽だが、私にとって大きな問題です。私のまわりの地方の出身の友達も同じように思っている。笑いが違うだけならさほど問題はない。でもたまにその笑いを強要されることがある。そのとき「異文化」を感じてしまう。関西にかぎらず、日本には「同じ」であって当然だという意識が強いように私は思う。(前件接続：て)
- (9) 指導者や親の中には、「学校の勉強だって、できる子とできない子がいる。スポーツだって、ほかの習いごとだって、上手、下手があつて当然だ。Dチームの子は、Aチームに入れるように一生懸命練習すればいいじゃないか。」(前件接続：て)
- (10) 今は不幸な時代だったといわれる時期に、日本人がのさばつてくらしていた、友信ビルなどとかかわりがなくて当然だ。(前件接続：なくて)

4. 「もっともだ」の使用されるコンテキストの分析

前節で「もっともだ」は「て系」接続が取れないことが明らかになった。次に「もっともだ」がどのようなコンテキストで使われるのかを分析していく。そのため、「もっともだ」が用いられる文 89 例の中から、共起しやすい要素を前件の内容や語彙と使用されるコンテキストから分析する。「もっともだ」の前件に含まれる内容や語彙について、一番多かったのが「発話に関する表現」で 64% であった。これらに分類されるものとして、「言う、指摘、意見、話、説、主張、言い分、趣旨、問題提起、助言」などがあつた。次のような例である。

【発話に関する表現】

- (11) ですから、もちろん、生態系丸ごと保全しなければだめだという批判的な御意見はもっともだと思いますけれども、現状を見きわめた場合、むしろ種アプローチにこだわるべきだというのが私の主張であります。
- (12) 日本に対して特にエネルギーの節約あるいは代替エネルギーの創出、こういうものに対する日本の工夫なり努力が足りないという指摘があつたときなされました。全くもっともだと思うのですね。
- (13) マンションの家賃を払うなら、自分の家を建ててローンを支払う方が気分がいいと言う娘の言い分をもっともだと思った。

- (14) まず、日本の全頭検査のいまの体制を継続すべきであるといわれたロドニー・レオナルドさんと山内一也さんの主張はもっともだと感じました。

このような例が多く観察されることから「もっともだ」が使用される文には、そのコンテキストに何かしらの「発話」が含意される例が典型例であることがわかる。

この次に多かった例として、直接的な発話はされていないが、コンテキストの中で「怒り、不満、心配、願い」など「感情や心理に関する表現」を表す例が19%あった。

【感情や心理に関する表現】

- (15) …でも、その道筋はあたしたちのように円満じゃなく、フリーゲルスの親会社の全日空の都合だけで決められた身勝手なもの。しかも、全日空はサポーターに事前に説明することなく合併発表、そして調印…これじゃ…サポーターの怒りも…もっともだよね。

音声化された「発話」そのものではないが、「怒り」の内容として「親会社の都合だけで勝手に合併を決めるな」という発話が想定され、それがそのコンテキストに含まれると考えられる。このように、「もっともだ」は心内発話も含めて、その感情や心理にまつわる「言語行為 (Speech Acts)」に関連付けられたものがコンテキスト上に含意されており、文に一定の傾向が観察された。

「発話に関する表現」と「感情や心理に関する表現」は、発話や感情を含意する語彙が現れているが、実際に語彙として現れていなくても、前後のコンテキストから、「発話」や「感情・心理」の内容を含むものが14%あった。

- (16) お正月になると人々は通りすがりの人や車に水かけやパウダーかけをしてはしゃぎまわる。ところが、今年はプノンペン市が水鉄砲の販売や水かけ遊びを禁止した。赤の他人の迷惑や交通事故の危険を考えればもっともだがもうひとつ盛りあがりに欠けたようだ。
- (17) 「土蔵破りの心当たりはねえか」小吉に、尋ねられると、「ごぎいませんと、いとも簡単に答えた。その様子には、岡ツ引きなどに取り調べられるのは心外だ、といったような態度が見られた。町人とはいえ、これだけの身代の内儀ともなれば、おのずから気づぐらいが高くなるのももっともだ。

上記の例は(16)「水鉄砲の販売や水掛遊びはしてはいけない」という禁止内容や、(17)では「態度」が「岡ツ引きなどに取り調べられるのは心外だ」と「言っている」ということが含意されると考えられる。これらの例は、言語化された「発話」は含まれていないが、そのコンテキスト中には何かの「言語行為」に関連付けられたものが示されている。このタイプは「発話に関する表現」と「感情や心理に関する表現」と異なり、特定の語彙のパターンがあるわけではなく、コンテキストにその「発話」が含意されていることが大切な要素となっている。

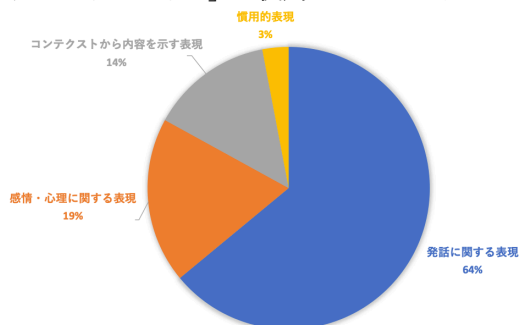
また、この他にも慣用表現として決まった言い回しの「言われてみればもっともだ」のような例が全体の3%あった。

- (18) 自分は人並みの社会生活をおくっていると信じていたが、どうやらそうでもなかったようだ。礼状や挨拶状か。言われてみればもっともだ。

何を言われたかは明示されていないが、「礼状や挨拶状がないのは社会人として非常識だ」という内容のことを「言われた」ことが想定される。

このように「もっともだ」が使われるコンテキストを分析した結果、発話に関する含意が存在することがわかった。「もっともだ」が使用される89例が使用されたコンテキストをグラフ化すると以下ようになる。「発話に関する表現」が64%、「感情・心理に関する表現」が19%あり、あわせると83%を占める。その他、「コンテキストから内容を示す表現」が14%、「言われてみればもっともだ」のように「慣用的表現」が3%あった。

表4: 「もっともだ」が使用されるコンテキスト



5. まとめ

最後にこれまでの議論をまとめておく。これまで「もっともだ」と「当然だ」は類義関係にあり、違いとして、「もっともだ」は「のは/のも」接続であり、「当然だ」は「て系」接続であると述べられていた。しかし、今回の調査で「もっともだ」は「て系」接続を取ることができず、「当然だ」のみ「て系」接続が可能であることが明らかとなった。一方で双方とも半分近くの例が「は系」で接続しており、「て系」接続以外には大きな違いはなかった。

また、「もっともだ」はそのコンテキストとして「言語行為 (Speech Acts)」を含意し、その典型例として「発話に関する表現」や「心理・感情に関する表現」があり、用例の83%を占めた。その他の例もコンテキストに「言語行為」を含意するものばかりであり、「もっともだ」の使用される文には一定の傾向が見られた。ここにおける「言語行為」は実際に音声として発話されなくても、そのコンテキストの中で何らかの発話と関連づけられるものが存在することを示す。

今回、残された問題として、何故「当然だ」は「て系」接続が可能で、「もっともだ」は「て系」接続ができないのかということがある。なぜ、類義関係にある「当然だ」は「て系」接続が可能なのにもかかわらず、「もっともだ」は不可能なのかに関しては慎重に議論すべき問題であるので、今後の課題としたい。

参考文献

- アークアカデミー (2017) 『はじめての日本語能力試験 N2 単語 2500』 アスク出版
庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘 (2001) 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』 スリーエーネットワーク
伊豆原英子 (2014) 「補足の接続詞「もっとも、ただし」の意味分析」『愛知学院大学教養部紀要』 61,181, 27-41:愛知学院大学
市川保子 (2010) 『日本語誤用辞典』 スリーエーネットワーク
神夏磯晴香 (2019) 『「もっともだ」「当然だ」における構文的条件とコンテキストの分析』 神戸松蔭女子学院大学大学院文学研究科国語国文学専攻修士論文
神尾昭雄 (1990) 『情報のなわ張り理論—言語の機能的分析』 大修館書店
三枝令子・中西久実子 (2003) 『日本語文法演習 話し手の気持ちを表す表現-モダリティ・終助詞-』 スリーエーネットワーク
佐々木仁子・松本紀子 (2010) 『日本語能力試験 対策日本語総まとめN2 文法』 アスク出版
仁田義雄 (1997) 「断定をめぐる」『阪大日本語研究』 9, 95-119. 大阪大学
原沢伊都夫 (2010) 『考えて、解いて、学ぶ 日本語教育の文法』 スリーエーネットワーク
森田良行 (1998) 『基礎日本語辞典』 角川書店
山下暁美・沢野美由紀 (2008) 『書き込み式でよくわかる 日本語教育文法講義ノート』 アルク
Austin, J.R. 1962. *How to Do Things with Words*. Oxford: Oxford Press. (飯野勝巳.2019. 『言語と行為』 東京：講談社学術文庫)
Searle, J.R. 1969. *Speech Acts—An Easy in the Philosophy of Language*. Cambridge: Cambridge University Press. (坂本百大.1986. 『言語行為』 東京：勁草書房)

参考辞書

- 『日本国語大辞典』(第二版 小学館)
『デジタル大辞泉』(第二版 小学館)
『明鏡国語辞典』(第二版 大修館書店)
『ジーニアス英和大辞典』(大修館書店)

使用コーパス

- 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ) <https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>

Authors' web sites: <https://researchmap.jp/read0064389>

(受付日: 2021 年 1 月 10 日)